

令和5年9月定例会

市民協働のまちづくりを

まちづくり委員会が縮小、後退傾向。原因は政策提言されても採択、実現する制度にはなっていない。達成感がなければモチベーションは下がる。

今後できるだけ提言が成果に結びつく体制づくりがを。

※市の公式ライン登録などを活用し多くの方々に、街づくりへの参加を呼び掛けるべき。



リサイクル率の向上は喫緊の課題。



知立市環境基本条例の目標は「資源を大切にする街づくり」。しかし現状は、リサイクル率15%以下で、県内42位、全国1132位、今年度は14%を下回っている。計画に沿った具体的な取り組みが見えてこない。

令和5年12月定例会

スポーツ・文化活動の活性化・施設の充実を



スポーツ振興は健康増進の要。いつでもどこでもスポーツに親しめる環境づくりと、スポーツ人口60%を以上を目指すべき。

文化振興は生活の潤滑剤。文化活動を通じたコミュニティづくりを。しかし、施設の老朽化が進む。利用者の意見や要望を活かし

施設の更新、統廃合など今後の需要に合わせた施設整備を。

高齢者、障害を持つ方全てにやさしいまちづくりを

障害がある児童・生徒が希望すれば、普通教室で学び健常者と同様に将来夢を持てる学校の教育環境が必要。

個々の個性に合わせたインクルーシブな教育の実現を。



※知立中学校に

エレベーターの設置

施策の実現

介護の現場では医療と福祉の連携が今後さらに求められる。地域包括ケアシステムの中で医療介護の連携強化をはかり切れ目のないサービス体制づくりを。

福祉制度は拡充されても制度自体を知らないまま不自由を強いられる人がいる。あってはならない。

アウトリーチ(手を差し伸べる)の考えで対応すべき。

